



# 与野本町小だより

～かしこい子 心ゆたかな子 たくましい子 助け合う子～  
ニコニコ・しっかり・美しく（本町の心）

12月号

令和6年11月29日

さいたま市立与野本町小学校

## 第三者の力を借りて

校長 小野 圭 司

「第三者」とは、その物事や出来事に直接かかわりをもたない人を指すと、ある辞書にあります。例えば、3年生の保健では、担任が子どもたちに1日の生活の仕方について授業をしますが、手や足の清潔など専門的な内容を指導する際には養護教諭が説明等を行うことがあります。これは同じ内容について説明等をするにしても、第三者が行うことで、子どもたちの記憶により残るようにしたり、学習意欲を高めたりなどするためです。第三者の力を借りることで、学びの相乗効果を期待しているところです。

11月16日（土）の「PTAふれあいまつり」では、多くの保護者の皆様に各ブースの準備や運営等を担っていただきました。そのため、子どもたちは保護者の皆様の話を聞いたり指示に従ったりするなど、保護者の皆様との豊かなかかわりがありました。これは大変有意義なことです。例えば、保護者の方一人ひとりの話し方や指示の仕方が異なりますので、多様な人を知る機会となります。そして、その保護者の方の話し方や指示の仕方に合わせるため、社会性を発達させることにもつながります。また、親の言うことを聞かない子が、親でない大人の言うことならば聞くという機会となる場合も考えられます。もしかすると、列の並び方が悪く、厳しく注意された子もいたかも知れません。子どもたちは第三者とかかわる中で、貴重な学びができたのではないのでしょうか。

この他にも、6年生は11月5日（火）～6日（水）の修学旅行においてホテルのスタッフや日光東照宮の案内人の皆様などと、2年生は11月11日（月）の「町たんけん」において学習支援ボランティアの保護者の皆様や訪問先の皆様と、1年生は11月27日（水）の「秋のなかよし会」において近隣保育園・幼稚園の園児たちとかかわる中で、学びを深めることができたと確信しています。また、11月19日（火）には与野高校の生徒たちが全クラスに入り交流しましたので、高校生に憧れをもった子もいたことと思われれます。さらに、11月20日（水）には、6年生を対象にさいたま市スクールロイヤーによるいじめ防止についての授業を実施しました。現役の弁護士から指導を受けることで、いじめ防止に対する意識がさらに高まったのではないかと思います。

学校における教育は主に教職員が担っていますが、その教育活動にかかわる人たちは多岐に渡ります。そして、その多岐に渡る人たち、つまり第三者による教育効果は絶大であると捉えています。

今後とも積極的に第三者の力を借りながら教育活動を進めてまいりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。